

2024 年 10 月 24 日所長会見 所感

- 本日、私からは地域とのコミュニケーション活動について、お話をさせていただきます。
- まず、柏崎商工会議所および刈羽村商工会の会員企業への訪問については、7月から開始し、10月8日までに約1,500社に実施いたしました。
- 私自身も訪問し、福島第一原子力発電所事故の教訓や自身の経験を踏まえた安全対策など、発電所の目指す姿の取組状況について、お伝えするとともに、ご意見をお伺いいたしました。
- また、10月5日、6日に行ったサービスホールイベントでは、近隣のダンススクールの方々にお越しいただいたこともあり、イベント全体で約1,900名と大変多くの方にご来場いただきました。
- 普段、発電所へお越しになられない方にも、発電所の取組状況を知っていただく機会となりました。加えて、電源車の乗車体験等を通して、お子さまも含めて発電所を身近に感じていただけたと思います。
- このサービスホールイベントでは、コミュニケーションブースだけでなく、構内バスツアーも行いましたが、この場でも皆さまと対話をさせていただきました。
- その他にも、19日、20日に見附市で開催したコミュニケーションブースでは、原子力・立地本部長の福田も説明者として参加いたしました。

- 県域の説明には新潟本社代表の橘田も参加しておりますが、今後、私も柏崎・刈羽地域のみならず、県域のコミュニケーションブースに参加してまいりたいと思います。
- これらのコミュニケーション活動において、「安全性向上に向けて様々な取組をしていることを理解出来た。応援している。」
「避難が心配だったが、約 10 日間の猶予があることを知れて良かった」、「普段見られない所が見学出来て勉強になった」といったご意見を私自身直接いただいています。
- 一方で、「トラブルが報道されると心配になる」といった声も少なからずいただきます。
- 多くのご意見を頂戴する中で、避難に関するご不安や当社のトラブルによるご心配等、皆さまからのご意見に共通点が見えてまいりました。
- 避難に関しては、その前提として、様々な安全対策により、福島第一原子力発電所事故のような状況になる可能性がかなり低くなっていること。
- 万が一、炉心損傷に至るような場合でも、代替循環冷却設備により、ベントを実施するまで、10 日間程度の猶予ができることを継続的に説明していく必要があると考えております。
- また、トラブル事案については、一つひとつ原因を分析して対策を行っていることや、協力企業との現場での合同検討会を通じて改善を図っていること等を、しっかりとご説明していきたいと考えています。
- 引き続き、地域の皆さまに信頼いただける発電所を目指してまいります。
- 本日、私からは以上です。